

第3 長野県総合5か年計画の主要プロジェクト（教育分野）

本計画の上位計画である「長野県総合5か年計画」においては、今後5年間の政策推進の基本方針を定め、この基本方針にのっとり「未来の信州」に向けた先駆的で先導的な取組について、部局横断的なプロジェクトとして推進することとしています。

主として教育分野で進めるプロジェクトとしては、「教育再生プロジェクト」を掲げており、本計画においてもプロジェクトに沿った施策を重点的に進めます。

「長野県総合5か年計画－第4編 プロジェクトによる施策の推進」から抜粋

8 教育再生プロジェクト

～良き人生を築き社会に貢献できる人材の育成～

目 標

子どもたち一人ひとりが、学力や体力、人間性などを身に付け、自らの人生を切り拓き、社会に貢献できる人材として育つとともに、県民誰もが生涯にわたる学びを通じて自己を磨き、豊かな人生を送ることができる教育県をめざします。

未来の姿

- 子どもへの多様な教育の場が整備され、教師の個に応じた適切な指導により、支援を必要としている子どもを含め全ての子どもが持てる力を発揮し、個性を輝かせています。
- 学校の自主性が確保されるとともに、保護者や地域住民が学校運営に参画し、子どもたちにより良い教育が提供されています。
- 子どもたちは、高い意欲を持って学び、基礎的・基本的な知識・技能に加えて実社会で必要となる実践力やコミュニケーション力を身に付けています。
- 誰もが生涯を通じて学び続けることで自らを高め、一人ひとりが人生を充実させているとともに、学んだことを地域社会に活かすことで地域に活気があふれています。

【アクション1】（学力・体力の向上と多様な学習機会の提供）

子どもたちの学力や体力を向上させるとともに、一人ひとりの個性に合った多様な学習機会を提供します。

（※アクション:このプロジェクトの目標を実現するために県が取り組むことを示しています。）

主な取組

- 学習習慣・生活習慣の確立と基礎学力の定着のため、小・中学校での30人規模の学級編制などによりきめ細かな指導を行います。
- 児童生徒の学力の向上のため、全国学力・学習状況調査等に基づく課題分析の実施や学習指導の基礎基本を示した「信州ベーシック*」の普及などにより授業の質を向上させます。
- 児童生徒の体力・運動能力の向上のため、幼児期からの運動遊びなどを取り入れた長野県版運動プログラムの普及を推進します。
- 支援関係者の資質向上や連携強化などにより発達障害児に対する支援体制を整備するとともに、発達支援を専門的に行う学びの場について検討を進めます。
- 人口減少社会の中、教育の質を確保するため、高等学校再編計画を策定するとともに、小・中学校のあり方について市町村とともに検討し新たな学校づくりを推進します。
- 課題研究などを通して探究的な学習をする学科の設置、中高一貫教育の拡大、全国から生徒が集まる特色学科の設置など魅力ある高校づくりに向けた検討を行います。

県民の皆様へ

(※プロジェクトの目標を実現するために取り組んでいただきたいことを記載しています。)

- ・子どもたちの多様な個性や能力を大切にしながら、子どもたちをしっかりと見守り、支えていきましょう。
- ・人口減少等に対応した新しい学校づくりについて一緒に考えていきましょう。

【アクション2】（地域に開かれた信頼される学校づくり）

コミュニティスクールなど、家庭や地域が小・中学校を支える仕組みを構築し、地域に開かれ信頼される学校づくりを進めます。

主な取組

- 保護者や地域住民が学校運営に参画し、学習支援や教育環境の整備などの教育活動を支援する信州独自の仕組み（信州型コミュニティスクール）を検討し、その普及を推進します。
- 学校組織のマネジメントの改善、新たな研修体系の確立、教員採用や人事評価の見直し、市町村等への権限移譲など、新たな教育行政の仕組みづくりを推進します。
- フリースクールなど民間団体との連携による不登校児童生徒への支援を行います。
- いじめに悩む児童生徒や保護者を支援するとともに、民間の支援団体や関係機関による「いじめNO！県民ネットワークながの」との連携などによりいじめを見逃さない環境づくりを推進します。

県民の皆様へ

- ・保護者はもとより地域住民の皆様は、学校運営に積極的な支援をお願いします。

【アクション3】（農林業体験など体験活動の推進）

子どもたちの社会性や自主性を育むため、小・中・高等学校で農林業体験、福祉体験、就業体験など様々な体験活動を推進します。

主な取組

- 農林業体験、福祉体験、就業体験など児童生徒の社会体験・職業体験活動を推進します。
- 公民館等を活用した異年齢の小学生の通学合宿を支援し、子どもたちの自主性・協調性を養います。
- 高校生が赤ちゃんや幼児との触れあい体験を通じ、子育てを理解する教育を推進します。
- 障害のある子どもを対象とした就労体験活動である「ぷれジョブ」を普及します。

県民の皆様へ

- ・社会体験・職業体験への協力など、学校と連携して子どもたちの体験を通じた学びを支援しましょう。

【アクション4】（情報活用能力、英語コミュニケーション能力の向上）

時代の変化に対応できる人材を育成するため、子どもたちの情報活用能力や英語コミュニケーション能力の向上に取り組みます。

主な取組

- 情報通信技術（ICT）を活用した授業の実施による児童生徒の学力や情報活用能力を向上させる取組について、モデル校を選定するなど全県への普及を推進します。
- 児童生徒の英語コミュニケーション能力の向上のため、英語指導教員の研修の充実、小学校での外国語活動の指導用教材の活用、留学の支援などに取り組みます。

県民の皆様へ

- ・ICT活用や英会話などの専門的な能力を持っている方は、学習ボランティアなどで児童生徒の学びの支援をお願いします。

【アクション5】（高等教育全体の振興）

地域社会の発展に貢献できる有為な人材を育成するため、県内の高等教育全体を振興するとともに、県立4年制大学を設置します。

主な取組

- 大学間の連携の強化や産学が協働して人材育成について対話する場づくりなど、長野県の高等教育全体を振興します。
- グローバル社会に対応し、地域や産業にイノベーションを創出していく人材を育成するため、長野県短期大学を改組し、新たな県立4年制大学を設置します。
- 勉学の意欲はあるが、経済的理由で進学が困難な学生に対して、奨学金制度や授業料免除により支援することを検討します。

県民の皆様へ

- ・県内高等教育関係者の皆様は、長野県の未来を担う人材育成に連携して取り組みましょう。
- ・経済界の皆様は、インターンシップの受入れや大学との対話促進など高等教育機関との連携をお願いします。

【アクション6】（生涯にわたる学びの環境整備）

生涯にわたる学びや学び直しができる環境整備を進めます。

主な取組

- 生涯学習推進センターにおいて地域の生涯学習指導者の養成を行うなど、県民の多様な学びを支援します。
- 県立長野図書館において、市町村立図書館等と連携した図書の相互貸借の実施などにより、利用者の利便性を向上させます。
- 長野県長寿社会開発センターが運営するシニア大学において、地域の課題に気づき、行動できる人づくりをめざし、新たに社会参加の重要性などを学ぶカリキュラムを充実することにより、高齢者の学びの環境を整備します。
- 県機関や市町村公民館等が連携して地域課題をテーマとした講座を身近な場所で開催するなど、県民が学びやすい環境づくりと地域づくりに参加するきっかけづくりを推進します。

県民の皆様へ

・生涯にわたって様々な人々と関わりながら学びつづけるとともに、
学びの成果を地域や社会に活かしましょう。

達成目標

(※プロジェクトでめざす到達点をできるだけわかりやすく示す指標とその目標値を示しています。)

指標名		現状	目標 (平成29年度)	備考
学校満足度	小学校	90.4% (H23年度)	92.0%	「学校へ行くのが楽しい」と答える児童の割合 [現状を上回る数値を目標に設定]
	中学校	85.7% (H23年度)	90.0%	「学校へ行くのが楽しい」と答える生徒の割合 [現状を上回る数値を目標に設定]
	高等学校	75.3% (H24年度)	80.0%	「学校の授業が理解できている」と答える生徒の割合 [現状を上回る数値を目標に設定]
全国学力・学習状況調査				全国学力・学習状況調査の主として知識に関する問題（算数A、数学A）で、全国平均より正答率が高い児童生徒の割合 [全国上位の水準を目標に設定]
	基礎的・基本的な内容の定着度が全国平均よりも高い児童生徒の割合	小学校 61.8% 中学校 56.5% (H24年度)	小学校 65.0% 中学校 60.0%	
	「学習したことを実生活の場面に活用する力」が全国平均より高い児童生徒の割合	小学校 58.0% 中学校 53.8% (H24年度)	小学校 60.0% 中学校 56.0%	
全国体力・運動能力、運動習慣等調査での体力合計点（全国順位）		31位 (H22年度)	10位台	全国体力・運動能力、運動習慣等調査での体力合計点の全国順位（小・中学校） [全国上位の水準を目標に設定]
信州型コミュニティスクールの実施割合（小・中学校）		21.0% (H24年度)	100%	保護者・地域による学校支援や学校運営参画の仕組みができている小・中学校の割合 [全ての公立小・中学校で体制ができていることを目標に設定]
就業体験活動を実施した生徒数の割合（高校生）		52.2% (H24年度)	100%	高校在学中に1日以上就業体験活動を実施した全日制生徒数の割合 [全ての生徒が実施することを目標に設定]
英語コミュニケーション能力水準	英語検定3級レベル（中学生）	19.8% (H23年度)	40.0%	中学校卒業時に英語検定3級レベルに達する生徒と高等学校卒業時に英語検定準2級レベルに達する生徒の割合 [現状を上回ることを目標に設定]
	英語検定準2級レベル（高校生）	30.0% (H23年度)	40.0%	

【用語解説】

□信州ベーシック：学び合える雰囲気のある学級づくりに向けた留意点や、めりはりのある授業の工夫など長野県教育が重視してきた授業づくりのために教員が心がけるポイントを整理したオリジナルの指導資料